平成 30 年 2 月 26 日

各　位

会 社 名　　ＬＣホールディングス株式会社
代表者名　　代表取締役社長　本荘　良一
（JASDAQ・コード　8938）
問合せ先　　管理部部長　　福島　満則
（TEL 042-565-2115）

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年２月９日に発表いたしました平成 30 年３月期に係る業績予想の修正に伴い、下記の通り中期経営計画（平成 29 年 5 月 24 日発表）を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

１．修正の経緯

この度の中期経営計画の修正は、平成 30 年２月９日に適時開示いたしました『業績予想の修正に関するお知らせ』に基づき、平成 30 年３月期に係る売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想を修正したものであります。

通期業績予想はファンド事業の出口戦略実現として織込んでいた連結子会社 SPC による物件の売却が想定期日までに実現できなかったことによるマイナス影響があるものの、保守的に見積もっていた医療等ヘルスケア施設への取り組み等が大きく貢献する見込みとなり、通期連結業績予想の修正をいたしました。

２．平成 30 年３月期の連結業績予想等に関する修正

「２．今期の業績予想及び今後の業績目標」

【修正前】

不動産賃貸関連事業は、ほぼ前年度と同じ業績を予想しております。

不動産ファンド事業は、上期に当社連結 SPC が所有する 1 物件、下期に同 4 物件の売却（計約 110 億円）を織込んでおります。新規物件の取得に関しては、年間約 150 億円（商業施設のみ）と設定し、そのうち約 5%を当社連結子会社として織込んでおります。なお、医療等ヘルスケア施設に関しては保守的に見積もり、当該期の業績予想には織込んでおりません。

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
平成 29 年 3 月期(実績)	百万円 6,946	百万円 625	百万円 590	百万円 ▲284
平成 30 年 3 月期(予想)	18,000	2,000	1,500	1,000

【修正後】（修正箇所は下線を引いております）

不動産賃貸関連事業は、ほぼ前年度と同じ業績を予想しております。

通期業績予想はファンド事業の出口戦略実現として織込んでいた連結子会社 SPC による物件の売却が想定期日までに実現できなかったことによるマイナス影響があるものの、保守的に見積もっていた医療等ヘルスケア施設への取り組み等が大きく貢献し下記の見込みとなりました。

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
平成 29 年 3 月期（実績）	百万円 6,946	百万円 625	百万円 590	百万円 ▲284
平成 30 年 3 月期（予想）	15,700	3,200	2,400	1,000

以　上

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。